

接種費用の一部助成を開始します おたふくかぜ・带状疱疹ワクチン

市では、おたふくかぜの感染・発症リスクの軽減と、带状疱疹の発症・重症化を予防するため、予防接種費用の助成を行います。



▼おたふくかぜワクチン（任意接種）

対 象	接種日時時点で市に住民登録のある以下のお子さん ○1回目接種 1歳～小学校就学前年度（年長児）のお子さん ○2回目接種 小学校就学前年度（年長児）で、1回目接種から2年以上経過しているお子さん ※既におたふくかぜワクチンを2回受けた方、おたふくかぜにり患したことのある方は対象外
助成額	1回あたり 3,000円 ※助成は2回まで。既に自費で1回目接種を受けた方は1回までです。

▼带状疱疹ワクチン（任意接種）

対 象	接種日時時点で市に住民登録のある50歳以上の方		
種 類	带状疱疹ワクチンは、2種類あります。どちらのワクチンを接種するかは事前にご検討ください。		
	名 称 (製造メーカー)	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」 (阪大微研)	
		乾燥組換え带状疱疹ワクチン「シングリックス」 (GSK)	
	種 類	生ワクチン	
		不活化ワクチン	
	対 象	50歳以上の方	
	接種回数	1回	2回
	費用(補助なしの場合)	1万円程度	2回で4万円程度
	接種方法	皮下注射	筋肉注射
	50～59歳に対する発症予防効果	69.8%	96.6%
	持続性	5年程度	9年以上
	※出典：東京都保健医療局 HP		
助成額等	○生ワクチン＝ 4,000円(助成＝1回) ○不活化ワクチン＝ 10,000円(助成＝2回まで) ※助成を受けられるのは、いずれかのワクチンで、生涯に1度のみです。		

▼共通事項

- (1) 助成期間： 10月2日～令和6年3月30日 ※開始日前に接種した場合は助成対象外
- (2) 指定医療機関： 裏面をご参照ください
- (3) 接種までの流れ
 - ① 指定医療機関で「お知らせ」と「助成券(兼接種予診票)」を受け取る
 - ② 指定医療機関へ直接予約する
 - ③ 「助成券(兼接種予診票)」に必要事項を記入し来院。
 - ④ 窓口で、「助成券(兼接種予診票)」、本人確認書類、接種履歴が分かるものを提示。
 - ⑤ 指定医療機関が設定した接種費用と助成金額の差額を指定医療機関へ支払う。

問い合わせ先： 稲城市保健センター
TEL042-378-3421 FAX042-377-4944

指定医療機関一覧表

医療機関名		おたふく	帯状疱疹	電話番号	地区
谷平医院		○	○	377-6433	矢野口
矢野ロクリニック		-	○	379-0939	
やのくち小児科アレルギー科		○	○	370-7707	
こせき内科クリニック		-	○	377-0035	
かじわら内科・泌尿器科クリニック		○	○	370-8770	
菜の花クリニック		-	○	313-9272	東長沼
東長沼クリニック		○	○	379-4851	
稲城腎・内科クリニック		-	○	370-7611	
立花こどもクリニック		○	-	378-7277	
あべ内科クリニック		○	○	379-4870	
なかお内科クリニック		-	○	401-5836	
なかざわ整形外科		-	○	370-2311	
稲城診療所		○	○	377-6128	大丸
市立病院	小児科	○	-	377-0931 ※予約受付時間 【午後3時～4時30分】	
	健診センター	-	○	377-1421 ※予約受付時間 【午前9時～午後4時】	
いしがき医院		○	○	401-3733	
稲城癒しの森内科クリニック		-	○	379-8880	
稲城わかばクリニック		○	○	370-0530	百村
いなぎ駅前クリニック		○	○	378-1570	
栄耳鼻咽喉科クリニック		-	○	370-7363	
桜井医院		○	○	378-3224	押立
向陽台クリニック		-	○	378-6677	向陽台
竹田耳鼻咽喉科気管食道科医院		-	○	377-3087	
長峰クリニック		○	○	350-7171	長峰
若葉台クリニック		○	○	350-6075	若葉台
もりこどもクリニック		○	-	350-6977	
若葉台眼科		-	○	350-8077	
ひらかた消化器内視鏡クリニック		-	○	331-1131	
簡野クリニック		○	○	331-8570	平尾
高クリニック		○	○	331-8201	
平尾内科クリニック		○	○	331-8221	
もりや脳神経クリニック		-	○	350-3885	
稲城平尾よりそうファミリー内科クリニック		○	○	350-3230	

【任意接種】稲城市おたふくかぜ予防接種費用助成のお知らせ

このお知らせ(両面)をよくお読みになり、2枚目の予診票を記入してください。

1 概要

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は乳幼児から成人まで幅広く感染をおこす感染症です。この感染症の問題点は、年齢を問わず高頻度で合併症をおこすことです。乳幼児期から学童期では、①無菌性髄膜炎、②急性睪炎、③感音性難聴などを合併します。特に感音性難聴は統計により、罹患者の500人から1,000人に1人が合併すると報告されており、また治療に抵抗性で後天性の瘻ろうの大きな要因にもなっています。

また、成人期に罹患すると、精巣炎や卵巣炎を高確率に合併し、その後の不妊の原因としても挙げられています。

このように、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、小児に限らず全てのライフステージにおいて影響の大きい感染症です。

稲城市では、おたふくかぜの感染・発症のリスクを軽減するため、おたふくかぜ予防接種の費用助成を行います。

2 対象者

接種時点で稲城市に住民登録がある次のお子様。

1回目接種：満1歳から小学校就学前年度のお子様

2回目接種：小学校就学前年度(年長児)かつ1回目接種から2年から5年経過しているお子様

※既におたふくかぜ予防接種を2回受けた方、おたふくかぜに罹患したことがある方は対象外です。

3 助成期間

令和5年10月2日(月)～令和6年3月30日(土)

※事業開始以前に接種した場合は助成の対象外。

4 費用助成額

お一人につき、上限額3,000円を2回まで助成。(同一年度での助成は1回のみ)

※任意接種ですので、接種費用は医療機関によって異なります。**接種費用から助成額3,000円を差し引いた額を実施医療機関でお支払いください。**

※おたふくかぜワクチン任意接種予防接種を既に1回接種した方は1回まで助成します。
※予診のみの方は助成の対象から除きます。

5 実施医療機関

(1)原則、稲城市の指定医療機関での接種とします。

(2)やむを得ない事情により、稲城市の指定医療機関以外での接種を希望する場合、事前に「予防接種依頼書交付申請書」の発行手続きを市にさせていただき、市から「予防接種依頼書」の交付を受けることで、接種に係わる費用の払い戻し(償還払い)を受けられるものとします。

6 接種を受ける方法

- (1)指定医療機関に事前に電話などにより予約を行う。
- (2)接種当日は、「【任意接種】稲城市おたふくかぜ予防接種予診票」を指定医療機関に記入の上、提出する。
- (3)本人確認書類（保険証等）及び母子健康手帳を提示する。
- (4)2回目接種の方は、1回目の接種履歴の分かるもの（母子健康手帳）を必ず提示する。

7 予防接種の副反応について

接種部位の発赤・腫脹等の局所反応や接種部位以外の副反応として発熱・軽度の耳下腺腫脹・咳・鼻汁等が見られます。いずれも一過性で数日以内に軽快します。

その他、稀に生じる重い副反応としては、ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、無菌性髄膜炎等が起こる可能性があります。

※接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

8 予防接種を受けることができない方

- (1)明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）がある場合。
- (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合。
- (3)予防接種やそれに含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合。
- (4)注射生ワクチン（麻しん、風しん、水痘など）の予防接種を受けて27日以上経過していない方。
- (5)その他、医師が不適切な状態と判断した場合。

9 予防接種を受けた後の注意事項

- (1)予防接種を受けた後30分間は、お子様の様子に変わりがないか特に注意してください。
- (2)接種当日の入浴は差し支えありません。わざと接種部位をこすることはやめてください。また、接種当日は、激しい運動はさけてください。
- (3)接種後、特に異常な反応のあったときは、速やかに医師の診察を受けてください。

10 健康被害救済制度

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）ワクチン予防接種は予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。この予防接種によって、入院を必要とする程度の疾病や、日常生活が著しく制限されるほどの障害などの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による「医薬品副作用被害救済制度」に基づく救済の対象となります。その他、「全国市長会」の予防接種事故賠償補償保険が適用される場合があります。まずは、稲城市健康課（保健センター）へお問い合わせください。

【お問合せ先】 稲城市福祉部健康課（保健センター）

電話：042-378-3421 FAX：042-377-4944

【任意接種】稲城市带状疱疹予防接種費用助成のお知らせ

このお知らせ（両面）をよくお読みになり、2枚目の予診票を記入してください。

1 概要

带状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹（水泡）が、皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患です。水泡が見られる2～3日前から痒みや痛みを感じるようになり、1週間程度たつと水泡や膿がたまることがあります。やがて水泡や膿は破れ、その後かさぶたとなります。通常は2～4週間で皮膚症状がおさまります。

子どものころに水痘（みずぼうそう）にかかると、水痘・带状疱疹ウイルスが体の中で長期間潜伏し、加齢や疲労によって免疫が低下した際などにウイルスが再び目覚め「带状疱疹」として発症します。また、皮膚症状が治まった後も、長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛になる可能性があります。

原因となる水痘・带状疱疹ウイルスに対しては、成人の9割以上が抗体を持っていることから、既にほとんどの人が感染していると考えられ、誰もが带状疱疹を発症するリスクがあります。

稲城市では、带状疱疹の発症および重症化を予防するため、満50歳以上の方を対象に、带状疱疹予防接種の費用助成を行います。

2 対象者

接種日時時点で以下の条件を全て満たす方。

- (1) 満50歳以上の方
- (2) 稲城市に住民登録がある方
- (3) この带状疱疹ワクチン任意接種の助成を一度も受けたことがない方

3 助成期間

令和5年10月2日(月)～令和6年3月30日(土)

※事業開始以前に接種した場合は助成の対象外。

4 費用助成額

使用ワクチン	助成回数	助成金額
生ワクチン（ビケン）	1回まで	1回 4,000円
不活化ワクチン（シングリックス）	2回まで	1回 10,000円

※助成を受けられるのは、生涯で一度のみです。生ワクチンと不活化ワクチン両方の助成を受けることはできません。

- ※任意接種ですので、接種費用は医療機関によって異なります。接種費用から上記の助成額を差し引いた額を実施医療機関でお支払いください。
- ※生活保護受給者等への自己負担免除はございません。
- ※予診のみの方は助成の対象から除きます。

5 実施医療機関

- (1)原則、稲城市の指定医療機関での接種とします。
- (2)やむを得ない事情により、稲城市の指定医療機関以外での接種を希望する場合、事前に「予防接種依頼書交付申請書」の発行手続きを市にさせていただき、市から「予防接種依頼書」の交付を受けることで、接種に係わる費用の払い戻し（償還払い）を受けられるものとします。

6 接種を受ける方法

- (1)指定医療機関に事前に電話などにより予約を行う。
- (2)接種当日は、「【任意接種】稲城市帯状疱疹予防接種予診票」を指定医療機関に記入の上、提出する。
- (3)本人確認書類（保険証等）を提示する。
- (4)2回目接種の方は、1回目の接種履歴の分かるもの「帯状疱疹予防接種済証」を必ず提示する。

7 予防接種の副反応について

副反応には、注射部位の赤身や痛み、倦怠感などがあります。通常、数日以内に治ります。万が一、高熱やひどい腫れ、けいれんなどの症状があった場合は、医師の診察を受けましょう。

8 予防接種を受けることができない方

- (1)明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）がある場合。
- (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合。
- (3)予防接種やそれに含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合。
- (4)【生ワクチン(ビケン)接種希望】妊娠している、または妊娠している可能性のある方。
- (5)【生ワクチン(ビケン)接種希望】先天および後天性免疫不全、または免疫抑制状態の方。
- (6)その他、医師が不適切な状態と判断した場合。

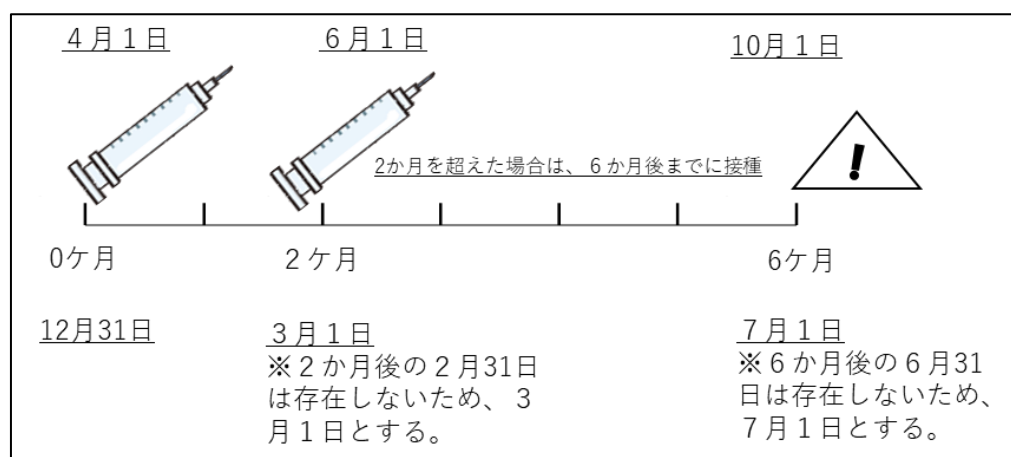
※ 接種に不安がある場合には、予防接種を受ける前に医師とよく相談してください。

9 予防接種を受けた後の注意事項

- (1)接種後 30 分程度は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡が取れる様にしておきましょう。
- (2)生ワクチンは 4 週間、不活化ワクチンは 1 週間、副反応の出現に注意しましょう。
- (3)接種後、数日以内に高熱やひどい腫れ、けいれんがあった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- (4)当日の入浴は可能ですが、注射部位を擦ることはやめましょう。
- (5)当日は注射部位を清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- (6)【生ワクチン接種希望】女性の方は、2 か月間は避妊が必要です。
- (7)【不活化ワクチン接種希望】1 回目接種から 2 か月あけて（遅くとも 6 か月後までに）2 回目の接種が必要です。**接種済証を保管し、忘れずに接種しましょう。**
なお、帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる方は 1 回目の接種から 2 回目の接種までの間隔を 1 か月まで短縮することができる。

<不活化ワクチン 2 回目接種時期の具体例>

不活化ワクチン（シングリックス）の接種間隔は日数ではなく、月単位で考えます。接種後の 2 か月後とは 2 か月の同日です。



10 健康被害救済制度

帯状疱疹ワクチン予防接種は予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。この予防接種によって、入院を必要とする程度の疾病や、日常生活が著しく制限されるほどの障害などの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による「医薬品副作用被害救済制度」に基づく救済の対象となります。その他、「全国市長会」の予防接種事故倍賞補償保険が適用される場合があります。まずは、稲城市健康課（保健センター）へお問い合わせください。

11 参考資料(東京都保健医療局 HP より)

带状疱疹ワクチンについて

名称 (ワクチン製造メーカー)	乾燥弱毒生水痘ワクチン ビケン (阪大微研)	乾燥組換え带状疱疹ワクチン シングリックス (GSK)
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
対象	50 歳以上	50 歳以上
接種回数	1 回	2 回
費用	1 万円程度	4 万円程度 (2 回で)
接種方法	皮下接種	筋肉注射
発症予防効果	69.8%	96.6%
持続性	5 年程度	9 年以上

補助なしの場合、厚生労働省ワクチン分科会資料、ワクチン取扱説明書、添付文書より
(発症予防効果は 50 歳～59 歳に対する効果)

【お問合せ先】 稲城市福祉部健康課 (保健センター)

電話：042-378-3421 FAX:042-377-4944